



テクニカル・メッセージ

電動パーキングの初期学習の未実施によってパーキングブレーキの制動力に影響する不具合を招く可能性があります
～電動パーキングの整備時は初期学習を実施してください～

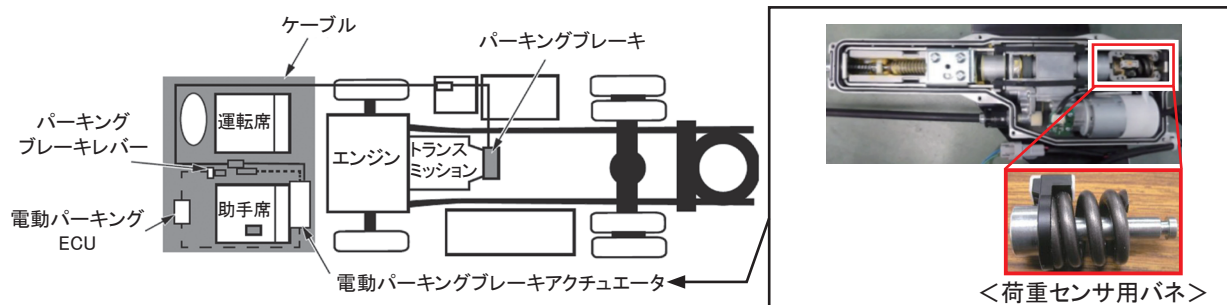
電動パーキング搭載車は、パーキングブレーキ関連部品の脱着・交換作業やパーキングブレーキシューのギャップ調整時は、「ケーブルの初期位置戻し」と「初期学習（解除位置学習）」作業が必要となります。これらを実施しないと電動パーキングブレーキアクチュエータの故障やケーブルの巻き取り不良を招き、パーキングブレーキの制動力が低下するおそれがありますので、確実に「ケーブルの初期位置戻し」と「初期学習（解除位置学習）」作業を実施していただけますようお願い致します。

■ 対象車両

小型トラック デュトロ ダイナ（電動パーキング搭載車）

■ 電動パーキングの初期学習未実施による不具合事例

アクチュエータ内部の荷重センサ用バネがへたり、パーキングブレーキの制動力が低下



■ 「初期学習（解除位置学習）」が必要となる整備

- ・パーキングブレーキドラム交換（ライニング含む）
- ・パーキングブレーキケーブル交換
- ・電動パーキングブレーキアクチュエータ交換
- ・電動パーキングECU交換
- ・パーキングブレーキのシューギャップ調整作業

■ 整備作業手順の概要について

ケーブルの初期位置戻し
※電動パーキングECU交換作業時のみは不要

パーキングブレーキドラム交換（ライニング含む）
パーキングブレーキケーブル交換
電動パーキングブレーキアクチュエータ交換
電動パーキングECU交換
パーキングブレーキシューギャップ調整作業

初期学習（解除位置学習）

ポイント

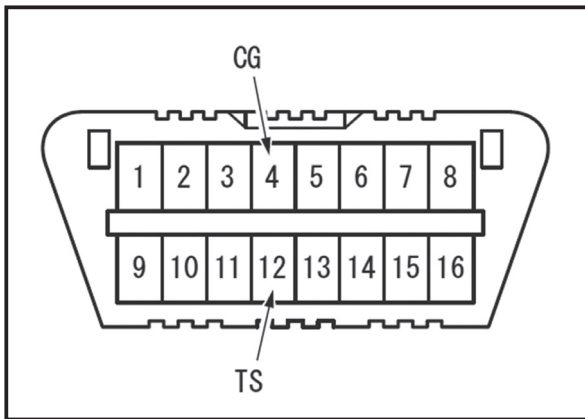
この作業を実施しないと初期学習モードに入らないので必ず最初にご実施してください。
※電動パーキングECU新品交換時は自動的に初期学習モードに入るため本作業は不要です。

補足

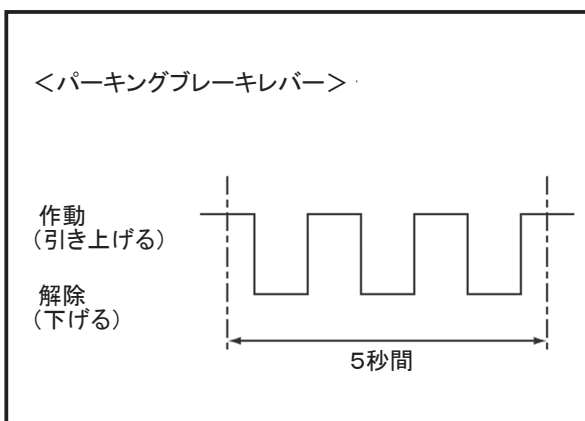
装置によって初期学習以外の作業も必要となる場合があります。整備解説書の手順に準じて作業を実施してください。

■ 「ケーブルの初期位置戻し」及び「初期学習（解除位置学習）」の作業要領

<ケーブルの初期位置戻しの作業要領>



- 1) 車両に輪止めを行いスターターキーを「ON」にして電動パーキングブレーキレバーを下げてパーキングブレーキを解除する。
- 2) スターターキーを「LOCK」にして DLC3 の 12(TS) ⇔ 4(CG) 端子間を短絡する。



- 3) スターターキーを「LOCK」→「ON」後、5秒以内にパーキングブレーキレバーを“下げる→引き上げる”の操作を3回行う。
 - 4) パーキングブレーキレバーを下げる。
 - 5) 電動パーキングブレーキアクチュエータが解除方向に作動「カチカチ音」の後、停止することを確認する。
 - 6) スターターキーを「LOCK」にして TS 端子の短絡を解除(※)する。
- (※) 初期学習（解除位置学習）作業を始めるまで一時的に中断した状態となり学習モードは継続しております。

<初期学習（解除位置学習）の作業要領>



- 1) スターターキーを「ON」にする。
- 2) パーキングブレーキレバーを引き上げる。(※)
(※)パーキングブレーキウォーニングランプは点滅した状態
- 3) 電動パーキングブレーキアクチュエータが自動的に10回作動する。
- 4) 電動パーキングブレーキウォーニングランプが消灯していることを確認する。

補足

ウォーニングランプが消灯しない場合は電動パーキング機構に異常がないか点検してください。